

放射能分析試験結果報告3

福島第一原発の問題は、いまだ終わりの見えない一層混沌とした状況をていしています。現在も元の生活に戻れぬまま暮らす皆様につきましては、一日も早く元の生活が取り戻せますようお祈り申し上げます。

最新の放射能測定試験の結果をご報告いたします。

平成 24 年 6 月 16 日

東京都港区新橋 5-7-5 富士屋ビル 3 階
 アイエス科工株式会社 御中

千葉県千葉市稲毛区山王町 295 番地 3
 財団法人 日本分析センター
 放射能分析業務部長 池内 嘉宏



分析結果報告書

24FY022

1. 契約件名：環境試料の放射能測定
2. 分析項目：γ線スペクトロメトリーによる ¹³⁴Cs、¹³⁷Cs の定量
3. 分析方法：分析試料を U-8 容器に詰めて、測定試料とした。
4. 測定方法：

(1) 測定

ゲルマニウム半導体検出器を用いて、測定試料を 3,600 秒間測定し、放射能濃度を算出した。
 なお、核データは原則として Atomic Data and Nuclear Data Tables(1983 年)に従った。

(2) 測定機器

ゲルマニウム半導体検出器 CANBERRA 社製 GC3020-7500SL

5. 試料一覧及び分析結果

単位：Bq/kg

試料名	試料 受領日	試料 検査日	供試量 (g)	γ線スペクトロメトリー	
				¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs
パーミキュライト 原鉱	24. 6. 12	24. 6. 12	91.1	** (6.5)	** (5.2)
パーミキュライト			15.2	** (30)	** (24)
VS34			24.3	** (16)	** (16)

- 注) 1. 分析結果は、計数値がその計数誤差の 3 倍を超えるものについては有効数字 2 桁で表し、それ以下のもの (不検出) については**で示し、検出限界を () 内に示した。
 2. 測定結果については、検査日の結果である。

以上